

Staff Development Program



職員研修プログラム

確かな成長とやりがい。最短距離がここに。



オンデマンド研修 2025

 TKC全国会

職員研修プログラム

会計事務所の仕事の意味と価値を理解し、成長を実感しながらやりがいを持って働くために。

入所1か月

入所3か月～1年以内

入所1～2年目

入所3～5年目

新入職員向け基礎研修シリーズ

新入職員研修 プログラム P.4

- ✓ 税理士業務の本質を理解する
- ✓ 社会人としての基礎をつくる

目安:入所1か月以内

初級職員研修 プログラム P.5-7

- ✓ 会計と税務の基本を学ぶ
- ✓ 業務スキルの基礎を学ぶ

必修基礎コース

基本的な知識

目安:入所3か月以内

NEW

ここからシリーズ

業務スキルの基礎

目安:入所1年以内

紹介動画

YouTube「Channel TKC」

「新入職員研修プログラム」のご紹介



「初級職員研修プログラム」のご紹介



専門的知識の習得

- ✓ 実務に役立つ知識を学ぶ
- ✓ 認証資格を取得する

巡回監査士補研修

(試験対策講座) P.8

目安:入所2年以内

巡回監査士研修

(試験対策講座) P.9

目安:入所5年以内

業務スキルの習得

目安:入所5年以内

- ✓ 決算書と申告書が作成できる
- ✓ 高付加価値業務ができる

税務情報システム研修会 (法人税・所得税・年末調整・相続税) P.14

自計化ステップアップ研修会 (導入編・活用編) P.15

巡回監査レベルアップ講座 P.15

新入職員向け基礎研修

専門的知識を学ぶ

業務スキルの習得

新入職員向け基礎研修

新入職員研修プログラム

目安:入所1か月以内

仕事のイロハを身に付ける。成長への第一歩はここからはじまる!

会計事務所の仕事は税理士法に基づく業務であるという本質を理解しながら、社会人として必要なビジネスマナーなどの基本を身につけ、働く職場(会計事務所)に溶け込み、仕事をスタートできるようになります。

ねらい

- チーム(会計事務所)の一員として、税理士法および会計事務所の一般的ルールを理解し、守ることができる。
- キャリアプランをもとに、1年目および将来の目標「将来、ここで、わたしは巡回監査士になる」を描くことができる。
- 会計事務所の一連の仕事、ビジネスマナーとビジネススキルの基本を学びながら、働く職場に溶け込むことができる。

研修内容

第1章:会計事務所働く心構え

- 1-1 新入職員研修で学ぶこと
- 1-2 研修を受講するにあたって
- 1-3 社会人としての意識



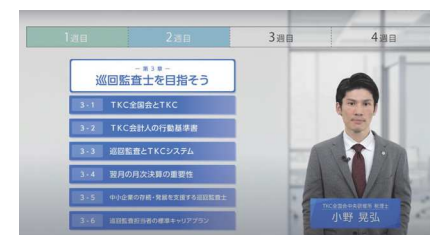
第2章:税理士の職務と責任

- 2-1 税理士の使命と責任
- 2-2 税理士法と巡回監査の必要性
- 2-3 職員さんが守るべき税理士法
- 2-4 所長・上司への報告義務



第3章:巡回監査士を目指そう

- 3-1 TKC全国会とTKC
- 3-2 TKC会計人の行動基準書
- 3-3 巡回監査とTKCシステム
- 3-4 翌月の月次決算の重要性
- 3-5 中小企業の存続・発展を支援する巡回監査士
- 3-6 巡回監査士のための標準キャリアプラン



第4章:仕事に役立つビジネススキル

- 4-1 仕事をする上での心構え
- 4-2 仕事の指示・命令の受け方
- 4-3 ミスしない仕事のやり方
- 4-4 上手な仕事の進め方
- 4-5 経営者との面談に備えて



第5章:身に付けておくビジネスマナー

- 5-1 表情
- 5-2 挨拶とお辞儀
- 5-3 立ち居振る舞い
- 5-4 言葉遣い
- 5-5 服装と身だしなみ
- 5-6 電話応対
- 5-7 ビジネスメールの書き方
- 5-8 名刺交換
- 5-9 訪問・来客対応するとき
- 5-10 ウェブ会議をするとき



新入職員研修を
まるっとサポート!

初級職員研修プログラム

仕事とキャリアステップの土台となる基本的知識を身に付ける!

会計事務所の仕事の意義と価値をつかみつつ、「会計」と「税務」の基本を学び、段階的に専門的知識と業務スキルを高めていくための土台を形成します。

ねらい

- 会計事務所です仕事をするうえでベースとなる、「会計」と「税務」の基本的知識を学ぶ。
- 巡回監査の意義と目的を理解したうえで、巡回監査の全体像と流れをイメージすることができる。
- 入所1年目に取り組む業務(年末調整、所得税確定申告など)の基本スキルを習得する。

必修基礎コース(基本的な知識を身に付ける)

目安:入所3か月以内

段階的に「知識」と「スキル」を高めるために、確実に基礎を身に付けることができます。

研修内容

第1章:会計事務所のしごと

- 1-1 初級職員研修プログラムで学ぶこと
- 1-2 会計事務所のさまざまな仕事
- 1-3 会計事務所の年間業務スケジュール
- 1-4 会計事務所をとりまく関係者
- 1-5 巡回監査士へのロードマップ



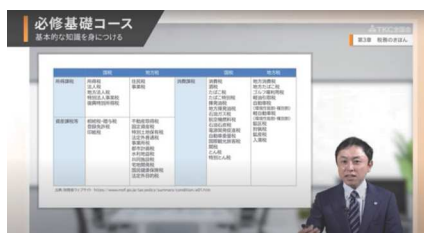
第2章:会計のきほん

- 2-1 そもそも会計とは
- 2-2 取引発生と会計処理のタイミング
- 2-3 実務における仕訳
- 2-4 月次決算の重要性
- 2-5 毎月の試算表のみかた



第3章:税務のきほん

- 3-1 税金の種類
- 3-2 それぞれの税金の基礎知識(所得税、法人税、消費税、相続税、その他の税)
- 3-3 税務に関連する法律(租税法律主義、民法、商法・会社法)



第4章:巡回監査の手順とポイント

- 4-1 巡回監査とは
- 4-2 巡回監査の事前準備
- 4-3 関与先での巡回監査(現場)
- 4-4 所長への報告



初級職員研修プログラム

ここからシリーズ(業務スキルの基礎を学ぶ)

目安:入所1年以内

はじめての業務に取り組む前に受講する研修です。その業務の意味や価値が理解できるので、業務は単なる「作業」ではなく目的意識を持ってやりがいのある「仕事」になります。

▼ 研修内容

税務

ここから学ぶ法人決算申告業務

●ポイント

- ①法人決算業務の全体像をイメージできるので、はじめて決算業務をサポートするときの不安を解消できます。
- ②法人決算で作成する書類のそれぞれの意味や価値がわかるので、目的意識をもって仕事に取り組むことができます。
- ③この研修の後に「税務情報システム研修会」を受講することで、段階的に知識とスキルが高まっていきます。

●研修内容

- 1 法人決算業務の概要
- 2 法人決算で作成する書類
- 3 法人決算申告のシステムと研修



会計・経営助言

ここから学ぶ科目配置基準

●ポイント

- ①科目配置基準の意義と目的を理解します。
- ②科目配置基準のルールを守ることで得られる価値を理解します。
- ③科目配置基準の使い方を学びます。

●研修内容

- 1 科目配置基準とは
- 2 科目配置基準のルールを守ろう
- 3 会計データの経営助言への活用
- 4 月次決算の精度を高める会計処理



給与関連

ここから学ぶ給与計算

●ポイント

- ①給与計算の仕組みを、やさしく解説します。基礎知識をマスターし、全体像がイメージできます。
- ②給与計算の方法を、わかりやすく解説しますので、はじめて給与計算業務にかかわる不安を解消できます。
- ③この研修の後に「PX2操作研修会」等を受講することで、段階的に知識とスキルが高まっていきます。

●研修内容

- 1 給与計算とは
- 2 給与計算の実務
- 3 各種納付のスケジュール
- 4 給与計算システムと研修



日常業務他

ここから学ぶOMSクラウドの基本操作

●ポイント

- ①「報告・連絡・相談」と「仕事の管理」のポイント、「SNS等の注意点」を学びます。
- ②「スケジュール」「業務日報」「TKCチャット」の基本的な操作方法をマスターします。
- ③よくある事例をもとに、実務での利用手順を身に付けることができます。

●研修内容

- 1 会計事務所の日常業務とOMSクラウド
- 2 業務日報の作成(DRS)
- 3 スケジュール管理(SPS)
- 4 コミュニケーション(TKCチャット)



ここから学ぶ消費税課税区分

●ポイント

- ①消費税について、実務で必要とされる基本的な知識を学習します。
- ②TKCシステムで消費税計算のために使用される「消費税課税区分」について、趣旨と主な課税区分を理解します。
- ③この先、巡回監査士補試験に挑戦される方が、スムーズに学習に入れるレベルまで到達できます。

●研修内容

- 1 課税の対象
- 2 納付税額の計算方法
- 3 消費税課税区分
- 4 簡易課税制度
- 5 実務のために知っておきたいこと



ここから学ぶ変動損益計算書

●ポイント

- ①私たちが中小企業を支援していくために、経営者の意思決定に役立つ管理会計を学ぶ意義を理解します。
- ②管理会計のなかで変動損益計算書は、中小企業の経営者にとってわかりやすく取り組みやすいので、この仕組みを習得します。
- ③変動損益計算書をもとに利益をアップする3つの方法を学び、中小企業の黒字決算の実現を支援していきましょう。

●研修内容

- 1 経営者の意思決定に役立つ管理会計
- 2 変動損益計算書のしくみ
- 3 ケーススタディ
- 4 TKCシステムの変動損益計算書



ここから学ぶ社会保険のきほん

●ポイント

- ①社会保険について、巡回監査担当者にかかせない基本的な知識を身につけます。
- ②入社・退職、出産、育児における社会保険の手続きについてポイントを押さえます。
- ③関与先の経理担当者が行う給与計算業務のサポートができる基礎を作ります。

●研修内容

- 1 社会保険の種類
- 2 社会保険の適用要件
- 3 入社・退職の手続き
- 4 出産・育児の手続き
- 5 社会保険関連業務とTKCシステム



ここから学ぶ税務申請・届出

●ポイント

- ①会計事務所の業務として頻りにある、税務書類の申請と届出の概要を学ぶことができます。
- ②e-DMSによる税務申請・届出の流れと作成方法を学び、はじめて税務書類を作成するときの不安を解消します。
- ③よくある税務申請と届出のケーススタディによって、基本的な業務スキルを身につけることができます。

●研修内容

- 1 税務申請・届出の概要
- 2 税務届出書類等作成支援システムの概要
- 3 税務申請・届出のケーススタディ



ここから学ぶ所得税確定申告

●ポイント

- ①所得税の概要を、やさしく解説しますので、はじめて業務に取り組む不安を解消します。
- ②所得税確定申告の計算方法を、わかりやすく解説しますので、まず1件目の確定申告業務にトライできます。
- ③この研修の後に、「税務情報システム研修会」を受講することで、段階的に知識とスキルが高まっていきます。

●研修内容

- 1 所得税の概要
- 2 青色申告制度の概要
- 3 所得税確定申告の計算事例
- 4 個人決算申告システムと研修



ここから学ぶ中小企業のビジネスモデル

●ポイント

- ①ビジネスモデルを学ぶことで、社会の仕組みを理解します。
- ②関与先の事業を理解することで、巡回監査を「書類確認」から「経営助言」に発展させます。
- ③ビジネスモデルに秘められた関与先の「想い」や「強み」を理解できるようになります。

●研修内容

- 1 ビジネスモデルとは
- 2 ビジネスモデル俯瞰図の作り方
- 3 ビジネスモデルの基礎知識
- 4 ビジネスモデルとTKC経営指標



ここから学ぶ年末調整

●ポイント

- ①年末調整の仕組みを、やさしく解説しますので、はじめて業務に取り組む不安を解消できます。
- ②年末調整の計算方法を、わかりやすく解説しますので、まず1件目の年末調整業務にトライできます。
- ③この研修の後に、「税務情報システム研修会」を受講することで、段階的に知識とスキルが高まっていきます。

●研修内容

- 1 年末調整のしくみ
- 2 年末調整の計算方法
- 3 年末調整のシステムと研修



ここから学ぶ法定調書と償却資産申告書

●ポイント

- ①1月31日提出期限の税務書類を提出する目的を理解します。
- ②法定調書と償却資産申告書について、基本的な知識を身につけます。
- ③会計事務所の繁忙期を、目的意識を持ちながら主体的に業務に取り組むことができます。

●研修内容

- 1 1月31日提出期限の税務書類
- 2 法定調書
- 3 償却資産申告書



巡回監査士補研修

目安:入所2年以内

中小企業を支援するために求められる基本的な知識を身に付ける!

巡回監査士になる前段階として、巡回監査に関する基本的な知識を習得するとともに、関与先の月次決算を支援し、個人事業者と法人の決算業務ができるレベルの研修です。

ねらい

- 所長・上司等からの指示事項と指導の下に、簡易な内容の関与先を担当し、月次から決算申告まで一通りできるようになる。
- 巡回監査の意義や必要性を理解し、業務遂行に必要な税法4科目(所得税、法人税、消費税、相続税)の基礎知識を習得する。
- 経営助言業務で求められる基礎知識(中小会計要領、変動損益計算書、財務分析)を習得する。

研修内容 (一部記載)

税法外2科目

巡回監査I(職業倫理・巡回監査)

- ・職業会計人の基礎知識
- ・法令等を理解するための基礎知識
- ・会計事務所をとりまく法律の基礎知識
- ・巡回監査の基礎知識
- ・TKC財務会計システムの基礎知識
- ・書面添付の基礎知識

巡回監査II(企業会計・経営助言)

- 【企業会計】
- ・会計業務と決算書
 - ・会計基準
 - ・財務諸表
 - ・損益会計
 - ・資産会計
 - ・負債会計

- 【経営助言】
- ・経営助言の基礎
 - ・変動損益計算書
 - ・財務分析

税法4科目

所得税法 約12時間

- ・所得税法の概要、各種所得の金額の計算、確定申告の概要、青色申告制度
- ・事業所得の計算
- ・譲渡所得の計算(取得費、譲渡費用)
- ・課税標準及び課税所得金額の計算
- ・損益通算、繰越控除(純損失)、所得金額調整控除
- ・所得控除額の計算・納付税額の計算
- ・譲渡所得の特例(居住用財産)
- ・源泉徴収・年末調整

法人税法 約12時間

- ・法人税法の概要
- ・納税義務者、事業年度、納税地、同族会社
- ・各事業年度の所得の金額
- ・表四(留保・社外流出)・別表五(一)・別表五(二)の作成
- ・申告・納付
- ・確定申告・中間申告
- ・受取配当・棚卸資産
- ・減価償却
- ・リース取引、少額減価償却資産
- ・繰延資産・役員給与・交際費・寄附金
- ・租税公課・納税充当金
- ・引当金
- ・貸倒引当金(一括評価)
- ・保険料・短期前払費用
- ・青色申告・欠損金
- ・税額計算
- ・法人税額の計算、所得税額控除

消費税法 約10時間

- ・消費税法の概要
- ・消費税等の仕組み及び計算方法、課税期間、申告納付・納税地、総額表示
- ・会計処理、用語の定義
- ・納税義務者、消費税の届出書・手続き
- ・課税の対象、非課税取引、輸出免税取引
- ・納税義務の成立時期(原則)
- ・課税標準
- ・税額控除等
- ・仕入れに係る消費税額、仕入れに係る対価の返還等、棚卸資産に係る税額調整
- ・売上げに係る対価の返還等、貸倒れ
- ・申告・納付・還付、その他

相続税法 約10時間

- ・民法
- ・相続人、代襲相続人、相続の承認と放棄、相続分、代襲相続分、遺言と遺留分、贈与
- ・相続税
- ・納税義務者、課税財産(みなし相続財産:生命保険金等、退職手当金等)
- ・非課税財産、小規模宅地等の減額、相続税の申告と納付
- ・贈与税
- ・贈与税の概要、贈与税額の計算、贈与税額控除(暦年)
- ・財産評価
- ・総則、宅地、宅地の上に存する権利、家屋、農地、上場株式、取引相場のない株式、預貯金

巡回監査士研修

目安:入所5年以内

高度な専門的知識を有し、関与先の成長発展に貢献できる人財へ!

巡回監査に関する専門的知識とレベルの高い実務能力を身につけ、会計事務所の戦力として、関与先支援と会計事務所の経営基盤強化の両翼を担う人財となるレベルの研修です。

ねらい

- 月次データや決算書に示された財政状態と経営成績を関与先に正しく報告。その要因を分析し、改善課題の提案ができる。
- 巡回監査で法にもとづいた正しい税務判断ができ、決算時には各種税制の適用判断ができるようになる。
- 税理士法第33条の2に基づく「申告書の作成に関する計算事項等記載書面」を作成することができる。

研修内容 (一部記載)

税法外2科目

巡回監査I(職業倫理・巡回監査)

- 【職業倫理】
- ・TKC創設とTKC全国会結成
 - ・TKC理念
 - ・TKC会計人の行動基準書
 - ・税理士の法律家としての地位とその責任

巡回監査II

- ・巡回監査
- ・書面添付
- ・TKCの創業と事業目的
- ・税理士事務所用システム
- ・TKCの関与先企業用システム
- ・記帳適時性証明書

巡回監査II(企業会計・経営助言)

- 【企業会計】
- ・会計業務と決算書
 - ・会計基準・財務諸表
 - ・損益会計・資産会計
 - ・負債会計・純資産会計
 - ・中小会計要領

巡回監査II

- 【経営助言】
- ・経営助言の基礎
 - ・変動損益計算書
 - ・財務分析・資金繰り
 - ・経営計画・業績管理

税法4科目

所得税法 約10時間

- ・譲渡所得の金額の計算
- ・みなし譲渡、生活に通常必要でない資産の損失、求償権が行使不能となった場合居住用財産の繰越控除、雑損失の繰越控除
- ・納付税額の計算
- ・認定住宅等の新築等の税額控除、耐震改修をした場合の税額控除、認定住宅等の新築等をした場合の所得税額の特別控除、給与等の支給額が増加した場合の税額控除、政党等に対する寄附金の特例
- ・譲渡所得の特例
- ・取用交換等の特別控除、取用等に伴い代替資産を取得した場合の課税の特例、固定資産の交換の特例、特定の土地等の特別控除
- ・有価証券の譲渡・平均課税制度
- ・源泉徴収
- ・低未利用土地等の特別控除、事業所得・雑所得の源泉徴収、一時所得の源泉徴収
- ・事業を承継した場合の所得計算
- ・法人成りに伴う所得計算

法人税法 約10時間

- ・受取配当
- ・受取配当等の益金不算入額、みなし配当
- ・有価証券・外貨建取引の換算等
- ・減価償却
- ・償却限度額の特例、資金的支出、中古資産、特別償却・特別控除、除却損
- ・交際費等に係る消費税等の額
- ・圧縮記帳

- ・欠損金の繰越控除・欠損金の繰戻しによる還付
- ・グループ法人税制
- ・貸倒引当金、貸倒損失

消費税法 約7.5時間

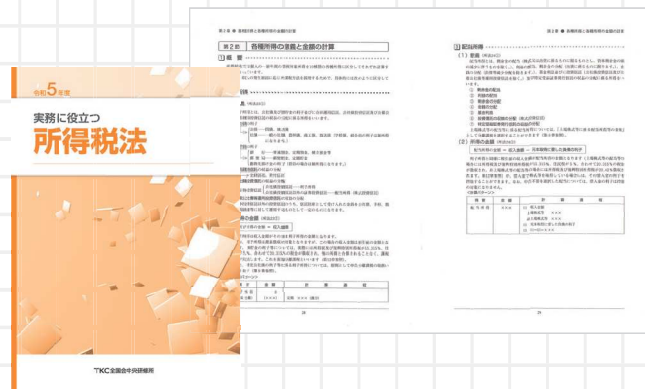
- ・納税義務者
- ・納税義務の免除の特例
- ・課税の対象
- ・資産の譲渡等の時期の特例
- ・税額控除等
- ・非課税資産の輸出等、棚卸資産に係る調整、調整対象固定資産に係る調整、居住用賃貸建物に係る調整、簡易課税制度
- ・国境を越えた役務の提供
- ・引取申告
- ・控除対象外消費税等
- ・国等に対する特例
- ・法人成りの場合の注意点

相続税法 約7.5時間

- ・相続税
- ・相続税の申告と納付(未分割)、延納、物納、農地等の納税猶予、非上場株式等の納税猶予
- ・贈与税
- ・負担付贈与、教育資金の一括贈与
- ・財産評価
- ・宅地の上に存する権利、附属設備等、構築物、配偶者居住権等、動産、公社債、貸付金債権等、受取手形等、ゴルフ会員権

専用のテキスト、例題集、オンデマンド研修による学習で、 実務に役立つ知識を最短距離で身に付ける。

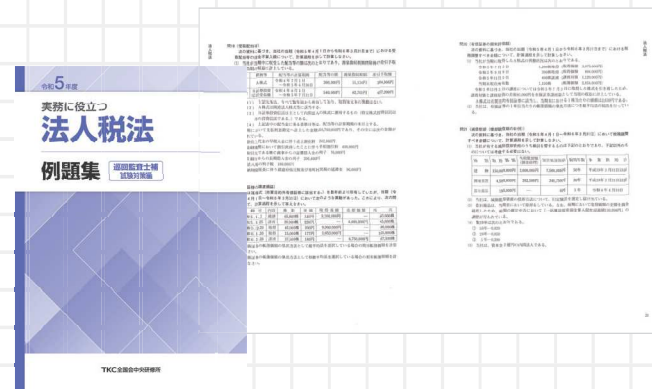
1 **テキストは、合格までだけでなく、日々の実務に役立つ情報満載**



<税法外：TKC 全国会中央研修所執筆・監修>
<税法：学校法人大原学園執筆・TKC 全国会中央研修所監修>

税法4科目(所得税法、法人税法、消費税法、相続税法)と税法外2科目(職業倫理と巡回監査、企業会計と経営助言)の分野別に、幅広く実務に即し、法改正に対応した最新の内容で構成しています。

2 **例題集は、テストに沿った問題と解説で得点力アップと理解度を確認**



<税法外：TKC 全国会中央研修所執筆・監修>
<税法：学校法人大原学園執筆・TKC 全国会中央研修所監修>

理論問題・〇×問題・計算問題をはじめ、実践形式の総合問題まで多数収録。問題ごとにテキスト該当ページを記載し、つまづいた問題はテキストに立ち戻れるので理解力の大幅アップにつながります。

3 **オンデマンド研修は、分野ごとの専門家による丁寧な解説で理解度アップ**



<税法外：TKC 全国会中央研修所講師・監修>
<税法：学校法人大原学園講師・TKC 全国会中央研修所監修>

テキストの内容を講義形式の動画で解説します。繰り返し視聴できるので、苦手分野の克服や復習に活用いただけます。また、1講義は概ね1時間以内と分割されているので、計画しながら視聴できます。

[巡回監査士補合格への最短距離] (入所1年目)

- 4月 入所
(新入職員研修と初級職員研修を受講)
- 6月 **テキスト** をさらっと読む。
- 7月 **オンデマンド研修** を受講する。
- 9月 **例題集** を2~3回解く。
- 11月 巡回監査士補を受験する。
- 12月 合格発表

**3つの教材を上手に活用することで
実務に役立つ知識と合格が手に入ります。**

専門的知識を学ぶ

巡回監査士試験合格者の声

入所2年目 群馬県

**合格した後の実務でも使えるくらい、
テキストの中身がかなり実践的。**

巡回監査士のテキストがとても分かりやすく、試験後も事務所に一式そろえています。実務で分からないことがあると、その都度見直し、該当の頁を開いて所長に質問することもあります。今後も手元に置いて活用しようと考えています。

入所2年目 青森県

**仕事に必要な知識を
効率よく習得できるチャンス!**

巡回監査士試験は難しいというイメージがあるかもしれませんが、実務に必要な税務などの知識を効率よく得る絶好の機会です。挑戦するだけでもとても価値がある試験だと実感しています。税理士を目指しており、並行して勉強を進めています。今後も関与先様の発展のために努力していきます。

入所3年目 茨城県

**試験勉強で得た知識が、
そのまま現場での業務に活かしています。**

試験を通じて得た知識を、現場で再認識する機会が多々ありましたが、知識がなければ気付かずに見逃してしまったこともあると思います。知識を得ることが関与先支援の質も高める最短の方法だと、試験の価値を実感しました。

入所4年目 静岡県

**試験合格までのカリキュラムが、
知識習得のペースメーカーに。**

巡回監査士制度は、会計事務所で働く際に必要な知識を、良質な教材によって効率よく勉強できる、本当に良い仕組みだと感じています。私も自主的に勉強するだけでは今と同じ知識を身に付けるのは難しかったと思いますが、この巡回監査士試験が継続的に勉強するためのペースメーカーになりました。

巡回監査士とは

税理士の4大業務（税務・会計・保証・経営助言）を実行するための専門的知識を一定以上有し（試験合格）、
税理士とともに「中小企業の存続・発展」を支援します。

巡回監査士になって手に入れる4つの価値



巡回監査と税法4科目の知識を身につけたことが客観的に証明され、名刺にかけるので、誇りを持てるようになる。



所長先生の右腕として活躍を期待され、関与先企業から信頼と安心を得られるようになる。



試験にチャレンジする緊張感と合格した達成感を味わうことができる。また、資格の更新制度があるので、自己成長し続けられる。



事務所内での地位（昇格）や給与（昇給）など、待遇改善を期待できる。

教育体制の充実

巡回監査士（士補）の資格を取得するための教育体制が充実しています。

関与先からの信頼獲得

実務能力が向上していると確かな成長を実感します。そして、関与先からの信頼獲得がやりがいになります。

PHASE 01

PHASE 02

PHASE 03

職員の実務能力向上

巡回監査士（士補）の試験勉強で学習したことは、会計事務所の業務で活かされ、実務能力が向上していきます。



巡回監査士認定証 (サンプル)



巡回監査士バッジ

受験前に知っておきたい！ 巡回監査士制度まるわかりQ&A

Q

どこの認証資格ですか？

A

コンサルタント系の民間資格認定団体では最も権威のある公益社団法人全日本能率連盟の認証資格です。

Q

受験科目は何がありますか？

A

巡回監査I（職業倫理と巡回監査）、巡回監査II（企業会計と経営助言）、所得税法、法人税法、消費税法、相続税法の合計6科目です。各科目70%以上の正答率で合格となり、全6科目に合格した方に資格を付与します。

Q

受験資格はありますか？

A

原則として「巡回監査士補」は実務経験6か月以上、「巡回監査士」は実務経験2年以上です。

Q

試験日はいつでしょうか？

A

巡回監査士試験は毎年11月上旬、巡回監査士補試験は毎年11月中旬の予定です。

Q

受験方法を教えてください。

A

受験はオンライン（IBT方式）で行います。パソコン、インターネット環境、Webカメラ、メールアドレスをご準備のうえ、事務所またはご自宅にて受験してください。

Q

合格率はどのくらいでしょうか？

A

過去2年は以下の通りです。
巡回監査士：令和6年21.3%、令和5年22.1%
巡回監査士補：令和6年21.9%、令和5年23.1%

Q

資格取得後に更新はありますか？

A

「巡回監査士」は2年ごとに更新があります。更新条件として、継続研修（2年間で36時間）の受講が必要です。

Q

全国に何名の資格者がいますか？

A

令和7年1月現在、17,059名の方が「巡回監査士」または「巡回監査士補」として全国で活躍しています。

業務スキルの習得

税務情報システム研修会

TKCシステムをマスターし、税務申告の業務スキルを伸ばす！

最新の税務情報とシステム改訂内容を理解し、TKCの税務システムをフル活用できるようになる研修です。「適正申告」と業務の標準化および効率化を実現します。



- 税制改正に対応した申告書を作成できるようになる。
- 税務情報システムの操作方法を習得し、効率よく申告書を作成できるようになる。

▼ コンテンツ

年間スケジュールを立て、4種類の研修で税制改正・システム改訂と操作・実務を学ぶ。

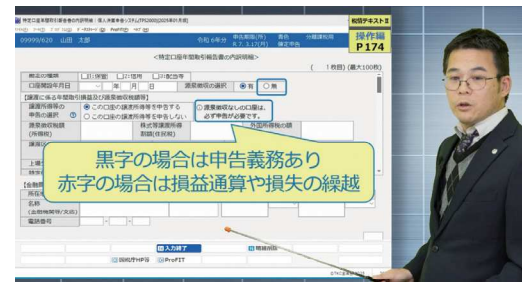
● 法人税・消費税編 / TPS1000

毎年6月配信開始



● 所得税・消費税編 / TPS2000

毎年1月配信開始



● 相続税・財産評価編 / TPS8000

毎年8月配信開始



● 年末調整・法定調書編 / TPS9000

毎年11月配信開始



税制改正・システム改訂編 と 操作・実務編 の2部で構成されています

- ▶ **税制改正・システム改訂編**…… 税制改正と実務における重要ポイント、各種申告システムの改訂ポイントを解説
- ▶ **操作・実務編**…… 各種申告システムの操作方法について、業務プロセスごとに解説

自計化ステップアップ研修会

関与先の黒字決算と適正申告を支援するTKCシステムを体系的に学ぶ！

TKC方式による自計化の狙いは「黒字決算」と「適正申告」です。「365日変動損益計算書」と「部門別業績管理」による関与先の黒字化支援、また経理業務の効率化等を念頭におき、TKCシステムを体系的かつ計画的に学びます。



- TKC自計化システムについて、特長や機能、活用方法を3つのステップに分けて学び、使い方を習得する。
- 継続MASシステムを利用した関与先への経営助言業務の実践方法を学ぶ。
- 事務所の生産性と業務品質の向上に繋がるOMS活用方法を習得する。

▼ コンテンツ

- **導入編**：FX2クラウドの立ち上げの流れと注意点について／利益管理表の設計や個変区分の変更などの事例
- **経理事務の省力化編**：証憑保存機能の特長と操作方法／銀行信販データ受信、電子納税とAPI連携の方法
- **業績管理機能編**：365日変動損益計算書の活用／業績評価マトリックスや部門別管理機能の活用
- **業績検討会 / 中期経営計画編**：期末業績予測と決算対策、中期経営計画の策定方法
- **短期経営計画編**：5つの質問による短期経営計画の策定方法
- **OMS編**：事務所の生産性と業務品質の向上のためのOMS活用方法

巡回監査レベルアップ講座

巡回監査時の基本的かつ実務に欠かせない知識を身につける！

税理士の4大業務「税務」「会計」「保証」「経営助言」について、巡回監査における各分野の基礎知識を身につけ、現場での実践力を高めます。



- 巡回監査に必要な知識を習得し、巡回監査の質を高める。
- 経営助言に必要な知識を習得し、関与先の経営支援を行えるようになる。

▼ 研修内容

- 巡回監査の手法・科目別監査のポイント
- 具体的な書面添付の書き方
- 継続MASシステムを活用した経営者との対話と経営計画の策定
- 初期指導チェックシートの活用方法
- 保険指導の標準業務化と標準保障額算定時の確認ポイント
- リスクマネジメント推進のポイント
- 三共済制度推進の意義
- など

